

花や虫など、身の周りの自然に興味津々の子どもたち。

新しいクラスにも慣れてきて、友だちと積極的に遊びを楽しむ姿が見られています。



年中組の子どもたちは、朝登園してくると「そとあそびする？」と外遊びを楽しみにして

おります。子どもたちは、始業式に園長先生から「いろんなものを見つけ、どんなものを見つけたのかを教えてください」と話をいただき、戸外に行くと子どもたちは昆虫や花、貝殻など自身で見つけたものを話してくれます。中でも、暖かくなり昆虫を見つけると大興奮しております。昆虫にも命があるので、子どもたちと虫の命も大切にできるように話していきたいと思

います。
朝の身支度では、年少組の時とは違う年中組になってからこそ増えることがあります。毎日貼るシール帳のシールを封筒に入れ、自分のロッカーで管理をするようになりました。はじめは、ロッカーに封筒だけが残っており、シールを貼ったままその場に置き忘れてしまう子も多く、シールがないと次の日シールを貼ろうとしても、貼ることができずに困っていました。自分のものを自分で管理できるようになるまで、言葉がけをしながら子どもたちも頑張っております。



自由遊びでは、これを作ろうと決め自分の世界に入り工作を楽しむ姿も見られています。最近では、折り紙も自分で本を見ながら折り、難しいところは「先生、これ手伝って」「ここができないから一緒にやって」と声をかけ一緒に行うことも増えました。中でも、折り紙の得意な子が率先して他の友だちに教えながら作っていることに驚きました。できないことや苦手なことも『挑戦してみよう』という気持ちが子どもたちから伝わってきます。子どもたちの一人一人の気持ちに寄り添いながらのびのび過ごせるように保育してまいります。

(年中組チーム担任 小森風音)

直前インフォメーション

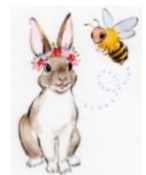
○衣替えについて

・5月2日(月)～5月27日(金)は夏服への移行期間です。

天候によって冬服、夏服どちらを着用していただいても構いません。**5月30日(月)からは、全員夏服での登園となります。**

○デイリークッキング

・次回は5月23日(月)となります。20日(金)までに、スマック・三角巾を袋に入れてお持ちください。



○水遊び

・6月中旬より水遊びを予定しております。水着(女の子はワンピースタイプ)・水泳帽・タオルなどのご準備をお願いいたします。

4月29日(金)～5月8日(日)の連休は引き続き感染対策を行い、事故・怪我にも十分に気を付けてお過ごしください。

5月の目標

- ・5月の自然に親しみながら、友だちと楽しさを共感し、のびのびと遊ぶ
- ・自分の身のまわりのことを、自身をもって行う



5月の歌紹介

子ども園で歌っている歌です。

ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

♪こいのぼり

作詩 近藤宮子

作曲 無名著作物 編曲 前田菜月

やねよりたかい こいのぼり

おおきいまごいは おとうさん

ちいさいひごいは こどもたち

おもしろそうに およいでる



♪ピクニック

訳詩 萩原英一 イギリス民謡

編曲 前田菜月

※おかをこえ いこうよ くちぶえふきつつ

そらはすみ あおぞら まきばをさして

うたおう ほがらに ともにてをとり

ラ ラララ ラ ラララ ララララ

1、あひるさん ガガガガー

ラララララやぎさんも めーえ

ララうたごえあわせよ あしなみそろえよ

きょうはゆかいだ

※繰り返し

2、いぬくんもワンワンワン

ラララララぶたくんも ブブブブー

ララうたごえあわせよ あしなみそろえよ

きょうはゆかいだ



5月の絵本

子どもたちが興味を持っている絵本

先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

「はらぺこあおむし」

作：エリック・カール

訳：もりひさし

デイリープログラムの英会話でも、はらぺこあおむしの絵本を英語で読んでいます。子どもたちは、はらぺこあおむしの歌を歌うことが大好きで、英会話でも英語で歌を歌いながら楽しんでいます。



食育について

給食の際に子どもたちに伝えていることをご紹介します。

ぜひ、ご家庭でも行ってみてくださいね。



○食事のマナー「食事時の姿勢」について

お給食を食べる前にも子どもたちと一緒に食事を食べる姿勢の確認をします。

① まず身体の向きがまっすぐになっているのか

自分で真っすぐになっているか確認をします。

まっすぐ前を向いていないと食事がこぼれてしまうことや、食事が詰まってしまうことや消化がスムーズにできないこともあります。

② 足の裏、園では上履きが両足床についているのか

足の裏を床に付けることによって身体に力が加わり、しっかりごはんを噛めるようになります。逆に、足がブラブラした状態だと、咀嚼力が弱くなり、噛む回数も減ってしまいます。咀嚼力が低下することにより、顔の筋肉があまりつかえず、表情が固くなってしまったり、歯並びや顎の発達にも影響が出てしまいます。

③ お腹と机の距離が「手でこぶしを作ってお腹はグー（1個）、背中にパー」になっているのか

机とお腹の距離が遠くなっていると猫背になってしまい、また肘をついて食べることに繋がってしまいます。

子どもたちと一緒にグーのこぶしを作って椅子との距離が適切どうか確認をしています。

少しずつ、子どもたちの意識も変わり、食事の前にはこちらが確認しなくても子どもたちから「グー作って確認したよ」「足の裏付いているよ」と声上がるが増えました。

○フォークやスプーンの持ち方も「上手持ち」でなく、子ども園では兄さん・お姉さん持ちと呼び、鉛筆持ちで持てるように声かけをしています。

新しく年少組、ぱんだ組、こあら組と自分より歳の小さい友だちが増え、子どもたちの意識も高まっているように感じます。

